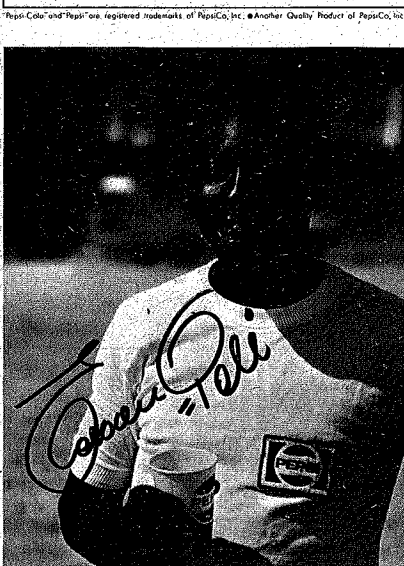


報徳学園が代表

——高校選手権——

49年度全国高校選手権大会兵庫県予選は111チームが参加して真夏の7月28日から11月24日まで行われ、報徳学園が3年ぶりに優勝した。

3年連続全国大会出場をねらう名門神戸高校は、この大会準優勝した尼崎西に敗れ、同じくシードされた葦合、赤塚山も勝ち進むことができなかった。また、六甲、兵庫工といった神戸市のトップを争うチームもはやばやと敗退した。



サッカーの神様ペレ来日

このたび、日本ペプシ・コーラの協力によりペレが来日、11月20日清水市をはじめとし東京広島等の3ヶ所で少年サッカー教室が開かれ、どの会場も超満員だった。

第2回神戸市少年サッカー大会

ダークホース

蓮池A 堂々の優勝!!

(市内史上最高の好ゲーム……決勝)

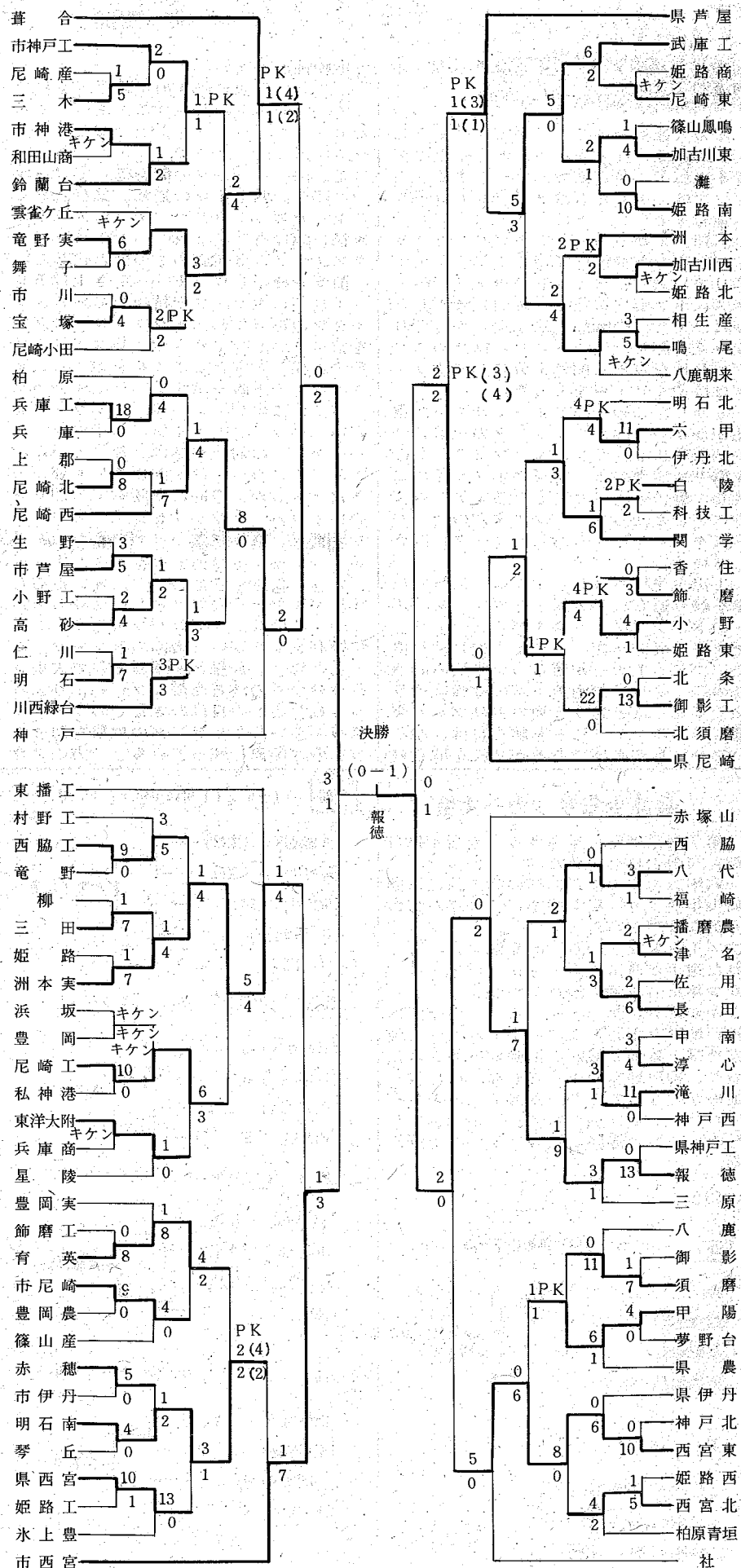
第2回神戸市少年大会は11月10日より御崎少年グラウンドで開幕、12月15日幕を閉じた。

準決勝で、KFCB・D(神戸Dサッカースポーツ少年団)は延長の末成徳を蓮池Aは優勝候補東灘Aをそれぞれ2対1で破り決勝へ進出した。

12月15日、多くの声援の中で決勝が行われた。0対0で迎えた後半5分、押されぎみだった蓮池Aのカウンター攻撃がKFCのゴールを割り、その後もよく守り抜いて、チーム結成以来2年目にして市内大会での優勝をなし遂げた。

なおくわしい記事は次号に掲載します。

昭和49年度全国高校選手権大会県予選結果



ドイツ菓子
Fuchheim's
ユーハイム

月刊
神戸のサッカー
神戸市サッカー協会ニュース

発行所
神戸市サッカー協会
神戸市灘区上野通6丁目3-12
加藤 医院 内
TEL (078) 861-3838
発行人 加藤 正信
編集人 辻 豊
購読料 1部20円

年頭の辞

会長 玉井 操

新年おめでとうございます。
この10年間、神戸市の少年サッカー関係者の寝食を忘れた熱心なご指導の成果は素晴らしく、昨夏西日本各地から強剛を迎えてのサマーフェスティバルや中学生の中国遠征で実証され、まことにご同慶にたえません。

今年7月、五大大大会が神戸で行なわれ、又その頃神戸市は中国天津市の青少年チームを神戸に招く予定と聞いています。共によい試合ができますよう関係者の格段のご努力をお願いします。

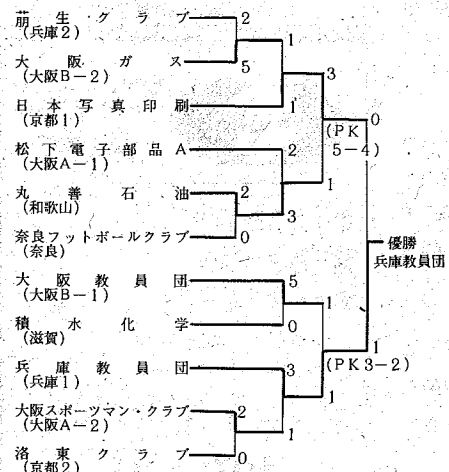
勿論サッカーの技術のレベルアップは一番にできるものではありません。小中高更に大学社会人の指導者の連けいプレーが必要です。特に小中高を丸とする青少年委員会の更に一段と活発な活動を期待して止みません。

スポーツの普及は技術の頂点を高めるだけでなく、裾野を広げることが大切です。幸い私達は少年から老人までサッカーの楽しめる組織、即ちスポーツ少年団サッカーリーグや他の都市に例の少いレクリエーションリーグを実施しています。これらのリーグが全市域にひろがり町単位に根を下した何百何千のチームが生れ、町内対抗戦に市民が湧くといった風景の見える日の一日も早からんことを祈ります。

関西トーナメントでは優勝
入替戦では完敗

関西リーグ入の夢破れる

——兵庫教員団——



11月23、24日、12月1日の3日間関西社会人トーナメント大会が服部競技場で

『私の初夢』

市協会理事長 加藤 正信

年末夕方のラッシュアワーである。
阪急三宮の交通公社の入口にうず高く積まれた神戸市サッカー協会ニュースの無人販売台に50円玉を投げ込んで、「神戸のサッカー」正月号を持って行く人がひっきりなしに続いている。

ニュースのトップ記事は、勿論正月3日から始まる大阪長居の全国高校決勝大会と、元旦から御崎の中央球場で開幕する全国ユース大会の下馬評である。

インターハイには神戸市立高倉高校が出場しているが、清水児玉等少年サッカーの盛んな土地の代表校と共に優勝候補にのぼっている。高倉高校のメンバーは神戸少年サッカースクールや神戸市スポーツ少年団サッカーリーグの出身者ばかりで、サッカー歴8～10年、中には幼稚園からボールを蹴って13年というベテランもいて、個人技は全員満点である。

昭和50年以前、中学からサッカーをはじめた者が大部分であった神戸の高校サッカーの状況を知る者には夢にも考えられない現象である。高倉高校の須磨君と北君は、神戸F.C.の灘・生田君とともに今年の夏、全日本候補者の合宿に参加したこともあり、インターハイを観戦に来る日本リーグのスカウト陣の食指を動かすトッププレイヤーである。

全国サッカーファンの関心は、一県一チーム単独高校の集まったインターハイより一段レベルの高い全市選抜やクラブチームのユース代表が出場する神戸のユース大会に集り、清水市選抜・藤和不動産・読売クラブ・校方F.C.・神戸F.C.等の優勝争いが注目の的となっている。優勝の本命は神戸F.C.である。

昭和50年春から全国にさがけて本格的育成に取り組んだ神戸F.C.ユースは、ナイター設備のある本拠地ポートアイランドのグラウンドでの技術戦術の練習のみならず、屋内球技場でみっちりウエイトトレーニングを行い、その上休日や土曜から日曜にかけてクラブハウスで合宿を重ね、講義でサッカーのすべてを教わっている。

神戸F.C.のクラブハウスには田辺記念図書室がある。ここには神戸F.C.の副会長だった田辺五兵衛氏が生前金にいとめをつけず集めたサッカーに関する古今東西の貴重な蔵書とその後の新刊書を加え5千冊が収められ、日本一を誇っている。

神戸F.C.のユース達は暇さえあればこの図書室にこもり、この年齢層では珍らしく自分の体にサッカーを染み込ませている。しかも彼等ははこの知識を実戦に使える強味を持っている。

神戸F.C.の本拠地の屋内球技場に付設して禅堂があることを知っている人は少ない。ユース達も練習の後で毎日ここで座禅を組む。神戸F.C.のユースたちが90分間途切れず集中できる精神力と、たとえ得点をリードされても各自の持っている力を最後までフルに発揮して試合を逆転勝利に結びつける精神力の持主であることは、案外この禅堂が秘密兵器であるようだ。

行われた。萌生クラブとともに兵庫県代表として参加した兵庫教員団は、近畿各府県の代表チームを相手に見事優勝を果たした。

2回戦で大阪スポーツマンクラブを3対1で破り、準決勝で大阪教員団と対戦した。学生時代の旧友が多く、またゲーム前の予想では大阪がやや有利とみられていただけに、全員が充実した気力でのぞんだ。PK戦にもつれこんだものの、勝負強さにまさる兵庫が3対2で勝利を

日本の少年サッカー育成の第1人者、校方F.C.の近江達氏が昭和48年に著わした「サッカーノート」上巻の冒頭に、日本の選手の体力的成熟の曲線と技術上達の曲線が一致せず、技術的頂点が体力的頂点よりおくれてくることを嘆いていたのを思い出す。神戸F.C.の大谷四郎技術委員長以下コーチ陣はこの両曲線を一致させることに努力し、しかもその頂点を16～19歳の間に持つことに成功した。今ブラジルで少年サッカーの指導に専念しているかつてのサッカーの神様ペレは15歳でプロ入りし、ワールドカップに登場したのが17歳である。神戸F.C.の灘・生田君は現在16歳で、来年のワールドカップ日本代表の有力候補となっているが、年齢に不足はない。

この神戸F.C.と高倉高校はよくライバルとして度々練習試合を行い、お互いに切磋琢磨していることが両チームの技術向上に大きく貢献している。両チームの夫々の大会での優勝を祈りたい。

阪急電車に乗り込むとインターハイとユース大会の中吊広告が目立つ。乗客もその下馬評に忙しく、特に神戸育ちのユース須磨・北君や灘・生田君の活躍振りを期待する声ばかりである。白髪の老人が2人、昭和初期の神戸一中・御影師範の全国征覇、その後の神戸兵庫の斜陽振り、最近復活したサッカー王国神戸等を話題に夢中でサッカー談義に花を咲かせているのを聞いてうれしくなった。

満員電車が揺れた拍子に足を踏まれ、イタイと思ったら眼がさめた。元旦おトソを祝うたたねした私の初夢である。神戸F.C.のユース達は暇さえあればこの図書室にこもり、この年齢層では珍らしく自分の体にサッカーを染み込ませている。しかも彼等ははこの知識を実戦に使える強味を持っている。

神戸F.C.の本拠地の屋内球技場に付設して禅堂があることを知っている人は少ない。ユース達も練習の後で毎日ここで座禅を組む。神戸F.C.のユースたちが90分間途切れず集中できる精神力と、たとえ得点をリードされても各自の持っている力を最後までフルに発揮して試合を逆転勝利に結びつける精神力の持主であることは、案外この禅堂が秘密兵器であるようだ。

手にした。勢いにのる兵庫教員団は、同じ日に行われた決勝戦でも疲れをみせない激しい動きで日本写真印刷を圧倒し優勝。

やや低調ぎみの神戸市サッカー界にあって、兵庫教員団の快挙は久しぶりの朗報といえる。健闘を心からたたえたい。
なお、兵庫教員団は12月8、15日関西リーグの近江クラブと入れ替え戦を行い1-4、1-3で完敗し、関西リーグ入の夢は破れた。

神戸市サッカー社会人リーグ部チームの抱負

「神戸のサッカー」愛読者のみなさんあけましておめでとうございます。初夢はいかがでしたでしょうか。天皇杯で日本リーグのチームと対戦するところまで

勝ち進んでみたい、あるいはフェイントの新兵器を開発してやろうといういろいろな夢をお持ちのことと思います。新年号では特集「関西リーグから日本

リーグへ」と題して、神戸市を代表する社会人チームの監督に昭和50年の希望と抱負を述べていただきました。(順不同)

❖限りなき前進

三菱重工神戸 岡村 敬

関西リーグに再加入したのは47年であったが、これは41年に脱落してから実に6年の歳月を要した。今季は6位。次の目標として日本リーグ2部昇格をめざしているが、その道も決して容易ではない。まず関西リーグで上位を確保し、全国社会人大会に駒を進めなければならない。

日本リーグのチームは多くの場合、サッカーをするために十分な時間と援助が与えられているようだが、われわれは仕事を第一義として、余暇をサッカーにあてている。選手それぞれの勤務場所や時間が異なり、また必ずしも条件のよくないグラウンドなど多くの困難がある。しかし、平均年齢20才の若いわがチームは、短い練習時間で体力を維持し効果的な技術向上がはかれるよう工夫をこらしている。対人個人技術の強化とゲーム感覚の修得に重点をおいており、今シーズンは次の3つのポイントをつかみ、実戦的な練習をきびしく積み重ねていきたい。

1、正しい状況判断による攻守の切り替えの速さ

2、シュートの早さと正確さ

3、90分間を戦い抜くだけの体力の向上
よい結果を得るには周到な準備が必要である。サッカーの上達には地道な練習を重ねる他に方法はない。少ない練習時間など悪条件をなげいていてもはじまらない。個人がいかに真剣になってサッカーに取り組むか、その姿勢が重要な鍵をにぎることになる。

やや不振の神戸市サッカーにあって、神戸のトップチームとして今年は大いにがんばることを誓います。全国社会人大会への参加と天皇杯中央大会への進出を目標とします。

❖サッカーにすべてを

神戸FC

牛尾 守伸

神戸FCは少年からOBまで西ドイツ的クラブを目指す神戸市民のクラブです。

その青年部に所属しているのがK.F.C.70 A、B、Cの3チームで、Aチームはクラブの代表チームとして活躍が期待されています。会員1000人、市民135万人の声援を背後に常に心がけていることは、神戸を代表する模範チームになることです。試合マナー、日常生活の態度において、各選手に模範的であれと言いきかせています。フェアプレーを柱として、強くそしてみんなから愛されるチームづくりが大目標です。

具体的には、「サッカーを生活に密着させる」ことです。同じ場所、時間に練習できないクラブ員にとって、勝ち残る道はただひとつ自己鍛錬しかありません。強制されてやるのではなく、自発的に体を鍛える喜びを日常生活の中でつかまなければ、スポーツのすばらしさを理解できません。余暇を漫然と過ごさずトレーニングに励む、そんな年にしたいと思っています。言いかえれば「クラブが生き残る挑戦の年」でもあります。選手全員に期待します。

K.F.C.はサッカーに情熱をかける人はだれでも入会できます。神戸のサッカーを強くしたいと希望にもえる若者を歓迎します。くわしくはTEL 371-3485の事務所までどうぞ。

❖納得のいくゲームを

川崎製鉄

蓮池 義寿

県中央大会と関西トーナメント大会に優勝し、関西リーグにチャレンジしてみたい。

強力なチームをつくりあげるには、走力を主にした体力、ゲーム中での正しい状況判断それに正確なシュート力をつけることがポイントになってくる。個人の能力を技術、精神の両面から向上させようと考えている。この4月には待望の専用グラウンド(幅68、長100メートル)が完成の予定であり、試合形式の練習も大いに取り入れたい。

中本キャプテンを中心にチームワークは一段とよくなった。若手の三浦に著しい進歩がみられ、BKの山県も安定度を増してきた。休養中だった岩見も回復し

心強い。また、原田、森のコンビも中本を助けてくれる。チームの滝波部長は、部員の大半が所属している事業所の課長であり、仕事やサッカーはもちろんのこと幅広くアドバイスを与えてくれるよきおやじでもあり、この点は選手は恵まれているといえる。

今年は昭和50年という区切りのよい年でもあり、社会人チームの一員として、神戸市サッカーに少しでも寄与できるよう部員全員が一致団結してがんばるつもりです。

❖生徒には態度で示す

兵庫県教員団

一北 四郎

兵庫教員団は学校教員で構成されているチームです。部員のほとんどが指導者としてそれぞれのチームを担当しており、また県下各地の学校に勤務している事情もあり、統一された練習がやりにくいという大きな問題をかかえています。しかし、私達はスポーツの真の姿を生徒に示す意味においても、苦しい条件を克服しながら今後も積極的な活動を進めていく決意です。次の3つが目標です。

- 1、関西社会人リーグへの昇格
- 2、天皇杯兵庫県大会の優勝
- 3、国体教員の部の関西代表権の獲得

このうち1については、49年12月15日には関西リーグの近江クラブとの入れ替え戦の結果が出ているはずです。また、3の目標は、50年が国体教員の部の最後の年となりそうですので、ぜひとも達成したいと考えております。

- 1、技術的・戦術的能力を向上させて、1対1に強い選手を育てる。
- 2、近くの味方を有効に使う、あるいは助けるといった簡単なグループ戦術を有効に用いる。
- 3、前後半をフルに走りまわることができ体力を養う。
- 4、激しい守りと展開力のある攻撃を身につける。

兵庫サッカーの各部門に関係している私達は、兵庫あるいは神戸のサッカー発展に微力ながら貢献したいと考えており、それをリードするにふさわしいチームに成長するよう努力を重ねる覚悟です。

〔連載1〕ワールドカップ観戦記

一北 四郎

やはり決勝戦をシリーズ第1回目に取りあげました。

8万大観衆の中でキックオフはオランダ。10本ほどパスが続いたあと中央のクライフにボールが渡る。マークするフォクツを軽く振りちぎりドリブルでゴールへ進むそのスピードはまことにすばらしい。追いつかるフォクツを背にしたクライフはなおも加速度を増してペナルティエリアに入り、ベッケンバウアー、ヘーネス、ボンホフの守りを強引に突破したかにみえたその瞬間、足を引っかけられ大きく転倒した。レフェリーはためらわずにPKを宣告。開始1分にしてオランダはやくも1点をとった。

しかし、この1点によってかえって重圧がかかったのか、オランダの攻撃はやや消極的になった。フォクツはこの失敗を取り戻すかのように猛然とクライフに挑む。警告を受けたにもひるまず、執拗にくいさがるフォクツさすがのスーパースタークライフも激しいマークに困惑している。

1点を取られたドイツは、果敢な攻撃を繰り返して、20分過ぎヘルツェンバインのドリブルにオランダバックがトリップの反則を犯し、ドイツもPKを得た。ブライトナーが落ちついて決め同点。この二つのPKで両チームの守備はやりにくくなったと思う。鋭いドリブルで突進してくるフォワードを防ぐには、激しいタックルが必要であるがPKを取られ

る危険性が高い。

ドイツの猛攻が続く前半終了近くになって、右サイドからもちんだヘーネスがセンタリング。ワントラップしたミュラーは振り向きざまのシュート。ボールは足を出したバックの間を通過してゴールの右隅へ。西ドイツの逆転。飛び上がった全員で喜ぶミュラーにチームメイトが祝福に駆け寄る。ミュンヘンオリンピックスタジアムは興奮のるつぼと化した。

前半を終了しロッカーへ引き上げるレフェリーにクライフが抗議している。フォクツの再三にわたるラフプレーに文句を言っているのだろうが、レフェリーは警告を発し断固としてこれを退けた。レフェリーの威厳を示すシーンでもあった。

さて、このゲームの前に、オランダを率いるクライフとドイツの帝王ベッケンバウアーとの対決が話題となっていた。この二人については次回以降にも述べる予定であるが、今回は決勝戦での印象を書いてみる。クライフを完全に押さえたフォクツ、縦横に走りまわったヘーネスやボンホフ、決勝の1点をあげたミュラーそれに猛攻をPKの1点に食い止めたG.K.マイヤーらのすばらしい活躍もあったが、やはりベッケンバウアーがドイツに勝利をみちびいた最高のプレーヤーだったと思う。優雅とか華麗とかで表現されるいつもの沈着冷静なプレーよりも、むしろこの日はむきだしのファイトで身をていしてオランダの攻撃を防ぎきったのが印象に残っている。一方のクラ

イフはPKを得たときのドリブルの見事さが強烈なイメージとして焼きついているためか、フォクツに封じこめられたその後のプレーにどことなく生彩がなかった。二人のできばえがそのまま勝敗にあらわれたといえるかもしれない。

試合前の1時間にわたるセレモニーも楽しかった。えんじのマフラーとクリーム色のヤッケとズボンそれに黒の帽子とブーツをはいた鼓笛隊が入場しグラウンドを一周。あざやかな芝の緑に映えて、まるでおもちゃの楽隊を見ているかのよう。また、左手からは純白のウエアとミニスカートに身を包んだ若い女性の一団が、三つのグループに分かれて行進してきた。その最前列には8人の少女が旗を持っていて。左右両サイドはF.I.F.A.、その一人内側はドイツフットボールアソシエーション、さらに内側はドイツの国旗、中央は今大会のシンボルマークとなっていた。

続いてオランダ、西ドイツ両国旗が入場しセレモニーは最高潮。美しい花模様のマスゲームを踊る青年男女を、大勢の少年少女が大きな輪をつくって囲み、手に持ったかわいい花を観客の方へ投げ入れるとスタジアムは割れんばかりの拍手喝采。

最後に、参加各国がドイツ国内で移動のために使った専用バスが、お別れのあいさつに顔をみせた。その乗り口には自慢の民族衣装をつけた女性が笑顔を振りまく。ブラジルの代表はバスから降りてサンパのリズムで陽気に踊っている。

先ほどの少年少女がそのバスに乗り込んで退場し、両チームの選手があらわれると場内には一転して緊張した空気が流れた。そしてあのドラマチックなゲームが始まった。(以下次号)

兵庫少年サッカー大会

第7回兵庫県少年サッカー大会が11月23、24の両日行われた。

六甲おろしの冷たい風の吹き抜ける御崎少年サッカー場を中心に、少年たちの元気な歓声があがっていた。ドリブルやフェイントなどの基本的な個人技にすぐれた選手が非常に多く、正しいサッカーが少年たちに深く浸透しつつあることがうかがえる。サッカースポーツ少年団は神戸地区が中心となって生まれたが、現在は県下各地で盛んな活動が展開されており、神戸地区のチームも簡単には勝ち進めなくなってきた。棄権チームの多かった6、7部は別として、男子で神戸地区のチームが優勝したのは1部の上野のみ。

◎11月23日

1部 (中学2・3年) 御影中学グラウンド

〔神戸地区〕	上野	4	1
〔阪神地区〕	園和	2	
〔東播地区〕	三木	2	
〔西播地区〕	(棄権)	1	
		(PK 4-2)	優勝上野

5部 (小学4年) 御崎少年サッカー場

〔阪神地区〕	西宮甲東	2	1
〔神戸地区〕	たちばな K.S.S	1	
〔西播地区〕	御津	1	
〔東播地区〕	三木小	3	
		(PK 2-1)	優勝三木小

7部 (小学女子) 御崎少年サッカー場

〔西播地区〕	(棄権)	0	1
〔阪神地区〕	(棄権)	6	
〔東播地区〕	口吉川	0	
〔神戸地区〕	北五葉	3	
		優勝北五葉	

◎11月24日

2部 (中学1年) 布引中学グラウンド

〔神戸地区〕	高倉	2	0
〔東播地区〕	朝霧	1	
〔阪神地区〕	(棄権)	1	
〔西播地区〕	御津	1	
		優勝御津	

6部 (中学女子) 布引中学グラウンド

〔東播地区〕	(棄権)	0	1
〔西播地区〕	(棄権)	1	
〔阪神地区〕	(棄権)	1	
〔神戸地区〕	高倉	1	
		優勝高倉	

3部 (小学6年) 御崎少年サッカー場

〔阪神地区〕	潮	2	2
〔東播地区〕	三樹	0	
〔西播地区〕	御津	0	
〔神戸地区〕	東灘	0	
		(PK 2-1)	優勝潮

4部 (小学5年)

〔阪神地区〕	有岡	0	1
〔神戸地区〕	神戸E K.F.C	6	
〔東播地区〕	みどり丘	2	
〔西播地区〕	竜野 ちびっこ	0	
		優勝みどり丘	

地区ブロック別

〔阪神地区〕	尼崎・伊丹・宝塚・西宮・芦屋
〔神戸地区〕	神戸市内
〔東播地区〕	淡路・明石・三木
〔西播地区〕	高砂・姫路・竜野



育成協だより

兵庫県サッカースポーツ少年団育成協議会では、12月14日17時から精養軒で幹事会を開いた。幹事長はじめ県下各地から集まった幹事は14名(欠席5名)で、熱心な討議で終始した。

協議事項は次の通り。事務所設置の件、昭和49年度事業の反省と県協会への要望、昭和50年度事業計画樹立について、

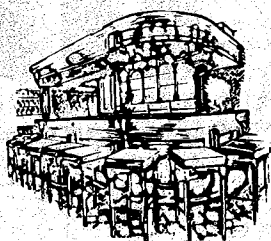
絶賛発売中

2月号



サッカー専門誌
毎月月末発売

イレブン



株式会社 ユーアンドユー
株式会社 ユニオンロマンティカ
取締役社長 瀬川 幸一

*ファッションキャンディのロマンティカがサントリー(株)と提携してサントリーパブ(株)を始めました。そして大阪曽根崎新地に第8号店、ザ・グラスポッパー桜橋店を、オープン致しました。華麗なビクトリア王朝風の落ち着いた雰囲気、是非一度おたのしみ下さい。



- ◎15日間仕上
- ◎一枚より製作
- ◎どのようなデザインでも可能
- ・お気軽にご相談下さい

営業時間 / 10時~19時30分(月曜定休日)
神戸市生田区下山手通6-65 電話 371-0857

専門店 関正スポーツ

◆チームメートみな兄弟

川崎重工業 中城 慶輔

49年は2部から返り咲き、リーグ戦当初は神鋼、市役所、川鉄の強豪を相手に3連勝し調子の波に乗っていた。その後勝ち運に見離され4勝3敗に終わった。新年号が発行されるころには、2部リーグチームとの入れ替え戦の結果が出ていると思われるが、50年の抱負の前に川重サッカー部はこの問題进行处理しなければならない。

わがサッカー部は何よりもチームの和を尊重する。チームが個人に対して何をやってくれるかを期待するのではなく、個人がチームに対して何がやれるかを考えよ、と説いている。練習は週2回行っているが、メンバーはできるだけ都合を調整して参加する。多忙な仕事などの悪条件は、アマチュアである以上どのチームにも共通した当然の問題であり、各人の自覚と責任の範囲で片付けている。

49年には下村、井沢、川島、中原、裏住、斉藤といった有望な新人が入部し、サッカーに対して意欲的な態度を示しているのがこれからの活躍が楽しみである。この若手のがんばりに感化されたのか、年長者も積極的に練習を行うようになりチーム内の雰囲気はよくなった。

若手と年長者の力をうまくミックスさせ、今年の目標を次のように定め決意を新たにしたい。

- 1、市リーグ1部の上位確保
- 2、県中央大会ベスト4
- 3、市民大会、市総体の決勝進出
- 4、天皇杯県大会ベスト8

豊富な練習量が目標達成のための前提条件となるが、ポイントとしてはまず第一にゲーム感覚の養成をとりあげたい。サッカーの要素として技術、戦術、体力が基本となるが、これらを単独にあつかう練習に終始するのではなく、総合的に鍛えようと考えている。いろいろな目的をもったスモールゲームが最高の練習方法のひとつであることに着目し、練習時間の大半をこれに充当する計画である。

第二には勝負強さをチームに植えつける。勝つことよりも参加することに意義があるとはいふものの、試合に勝とうとする強い意志がなければ、チームや個人の進歩はありえない。どんな試合でも一人一人が持っているあらゆる能力をすべて出しきり、また先取点を許してもそれをはね返すだけの氣力を部員に要求したい。具体的には日ごろの簡単な練習でも試合と同じように真剣に取り組むよう強く求めていく。

社会人リーグ2部結果

社会人2部リーグの全試合が終了した。神大同好会と葦合クラブがA、B各ブロックで優勝し、来シーズンの1部昇格が決った。

Aブロックでは神大同好会が8勝1分の成績でトップ。このチームは神戸大の正式クラブに所属していない選手で構成されているが、高校でのサッカー経験のある者が多く優勝は予想どおりといったところ。もともと十分な実力をもっている神戸スポーツマンクラブは、若手とベテランがうまく力をあわせ神大同好会に激しく詰め寄ったが、勝点でわずかに及

ばなかった。市総体で3位に入賞した川重西神戸はすっかり自信をつけ、終盤になってがんばりをみせ3位に食い込んだ。異色のKR&ACが4位。まじめな態度でサッカーに取り組んでいる三菱重工B、住友ゴム、神戸FCBがこれらに続いた。

一方、Bブロックでは葦合クラブが最終戦で兵庫朝鮮に破れたものの、2位に勝点2差をつけて優勝。葦合高校と関西大倉高校のOBでつくられたチームであり、天皇杯で大活躍したことは皆さんご存知のとおり。兵庫朝鮮は海事検定との試合を棄権したため勝点が2点減点され、惜しくも優勝を逸した。

神戸スポーツマンと兵庫朝鮮は1部チームとの入れ替え戦に出場する。

(Aブロック)

順位	チー ム	神大同好会	神戸スポーツマン・クラブ	川重西神戸	KR&AC	三菱重工B	住友ゴム	神戸FCB	スワローFC	須磨クラブ	三菱電機A	勝点	得点	失点	得失点差
1	神大同好会		3-0	2-0	2-0	5-1	2-0	1-1	4-0	7-2	5-1	17	31	5	26
2	神戸スポーツマン・クラブ	0-3		5-1	2-1	4-0	5-3	2-0	3-1	3-2	2-0	16	26	11	15
3	川重西神戸	0-2	1-5		3-1	0-3	2-0	0-0	7-1	4-3	3-1	11	20	16	4
4	KR&AC	0-2	1-2	1-3		5-1	2-3	2-1	0-1	2-0	6-0	8	19	13	6
5	三菱重工B	1-5	0-4	3-0	1-5		0-1	0-1	5-0	3-2	3-0	8	16	18	-2
6	住友ゴム	0-2	3-5	0-2	3-2	1-0		3-3	0-2	0-0	2-0	8	12	16	-4
7	神戸FCB	1-1	0-2	0-0	1-2	1-0	3-3		1-1	2-3	1-2	6	10	14	-4
8	スワローFC	0-4	1-3	1-7	1-0	0-5	2-0	1-1		5-1	2-2	6	13	23	-10
9	須磨クラブ	2-7	2-3	3-4	0-2	2-3	0-0	3-2	1-5		4-2	5	17	28	-11
10	三菱電機A	1-5	0-2	1-3	0-6	0-3	0-2	2-1	2-2	2-4		3	8	28	-20

(Bブロック)

順位	チー ム	葦 合	兵 庫 朝 鮮	海 事 検 定	市役所 B	川 鉄 建 材	神 港 ク ラ ブ	関 西 電 力	アーベ ン ツ	得 点	得 点	失 点	得 失 点 差
1	葦 合 ク ラ ブ		● 1-2	○ 3-0	○ 4-3	○ 6-0	○ 2-1	○ 7-2	○ 4-2	12	27	10	17
2	兵 庫 朝 鮮	○ 2-1		● 0-5	○ 9-1	○ 4-0	○ 5-0	○ 5-0	○ 5-0	10	30	7	23
3	日 本 海 事 検 定	● 0-3	○ 5-0		● 0-4	○ 2-0	○ 5-2	○ 4-0	△ 2-2	9	18	11	7
4	神 戸 市 役 所 B	● 3-4	● 1-9	○ 4-0		△ 1-1	○ 1-0	● 2-5	○ 5-1	7	17	20	-3
5	川 鉄 建 材	● 0-6	● 0-4	● 0-2	△ 1-1		○ 2-1	○ 2-1	○ 3-1	7	8	16	-8
6	神 港 ク ラ ブ	● 1-2	● 0-5	● 2-5	● 0-1	● 1-2		○ 3-0	○ 1-0	4	8	15	-7
7	関 西 電 力	● 2-7	○ 0-5	○ 0-4	○ 5-2	● 1-2	● 0-3		○ 3-1	4	11	24	-13
8	コーペアーベッツ	● 2-4	● 0-5	△ 2-2	● 1-5	● 1-3	○ 0-1	● 1-3		-1	7	23	-16

サッカーショップ

加茂

大阪店(大阪駅前第1ビル)へもいちどお越しになりませんか

一流選手が談笑しています

神戸店 三宮・そごう百貨店5F



勝利を呼ぶ3本線

adidas

トレーニングスーツ

サッカーパンツ

日本総発売元 株式会社デサント

ADIDAS DIE WELT MARKE MIT DEN 3 STREIFEN

◎ニューデザイン!!!

サッカーユニフォーム入荷!!!

(衿付)(丸首)(V首)

灘スポーツ

阪急西灘駅東出口下車、線路沿いに東約200米
阪急線踏切下る東側(灘区倉石通5-1-8)

TEL (078) 861-4671

- ◎アディダス・プーマ指定店
- ◎ヤンガー・モンブラン特約店
- ◎ヤスダ・ミツナガ・タイガー他
- ◎デサント・ジェレンク他

50年度社会人チーム受け付け

市協会では50年度の社会人チームの登録を受け付けている。

期限………昭和50年1月末日

申込先………〒652灘区篠原南町

中村寿男 勤 231 - 4811

自 861 - 7069

申込方法……登録希望旨、文書（葉書または封書）にて申し込むこと。
折り返し協会所定の登録用紙を郵送する。

登録料………未定。ただし49年度の実績は1チーム1年間につき22,000円

条件………特になし。ただし1チームにつき最低3名はリーグ開始前に行う予定の審判講習会に参加し審判員に登録しなければならない。

その他………登録が承認されたチームは市リーグ最下部加盟とする。
市協会に登録すれば県協会を通して日本サッカー協会第1種に登録する。

49年度リーグ加盟チームで出場停止処分を受けたチームも受けつける。

リーグ選手権大会組み合わせ

第1回社会人リーグ選手権大会の組み合わせ抽選会が、12月2日熱っぽい雰囲気の中で行われ、別表のように決った。

1部リーグが6チーム、2、3部から29チームのあわせて35チームが参加する。1月15日の須磨クラブ対グリーンFCの試合を皮きりに3月2日まで約40試合が行われる。日時とグラウンドについては後日発表がある予定。

Aブロックでは、兵庫教員団が関西リーグ入替戦その他の試合の都合により出場を辞退した。グリーンエルフも不参加。

Bブロックでは2部で優勝した葺合クラブそれに神戸スポーツマンと兵庫朝鮮がシードされている。神大同好会は参加しない。

試合形式……1部で1ブロック、2、3部で1ブロックの計2ブロックで各トーナメントを行い、各ブロック上位2チームの計4チームで決勝リーグ戦を行う

試合時間……トーナメントは70分とし同点の場合はトスで決定。リーグ戦は80分。

選手資格……49年度登録された選手。

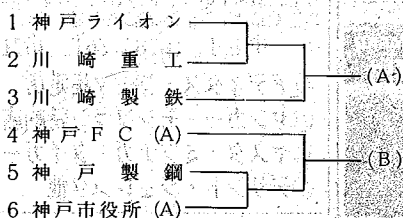
交替は5名まで。

違反のあった場合は棄権とす。

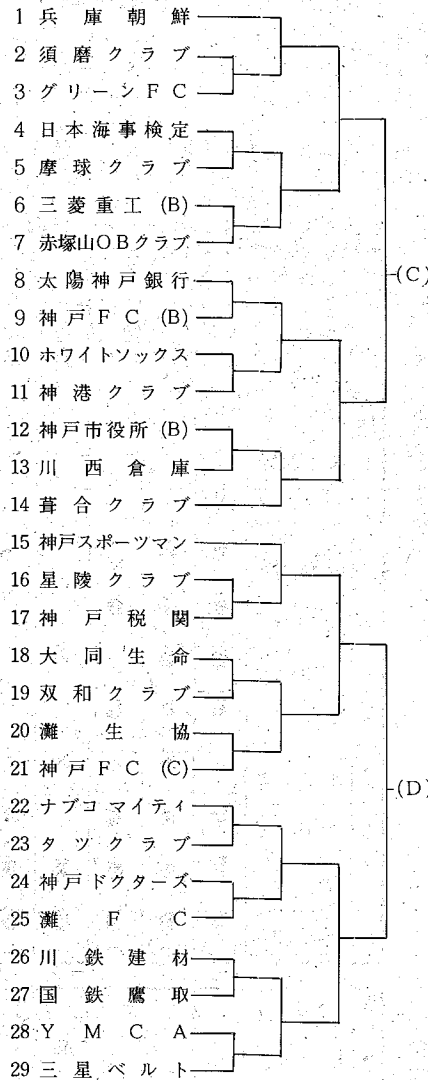
その他………10名に満たないチームは棄権。ユニフォームはチームで統一され、必ず背番号のついているものに限る。違反の選手は出場できないものとする。
他の細則については、市リーグ戦要綱による。

第1回社会人リーグ選手権大会組み合わせ

A ブロックトーナメント



B ブロックトーナメント



決勝リーグ

(A) — (C)

(B) — (D)

(A) — (D)

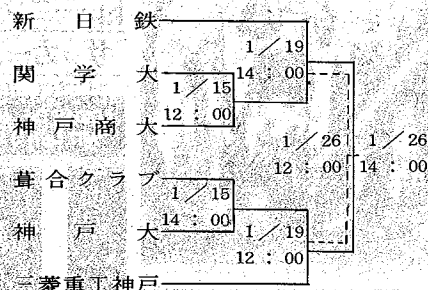
(B) — (C)

(C) — (D)

(A) — (B)

第一回兵庫カップ近づく

兵庫サッカー協会では、兵庫県一を決める大会として第一回兵庫カップを1月15日・1月19日・1月26日の三カ日、中央球技場で行う。参加資格は県内に所在するチームで前年度の関西リーグ・関西学生1部リーグ・天皇杯県大会上位3チーム。組み合わせは下の通り。



ありがとう

福田正夫さん

——中央球技場の芝を育てる——

「いやあ、苦勞なんてありませんヨ」日本の代表的サッカー場のひとつとして、東京の西ヶ丘と並び称される神戸中央球技場の面倒をみている福田さんを訪ねた。

仕事について伺おうとすると、紹介されるほどのものではないと、しきりに謙遜される。頭髪はすでに白いが、学生のころ野球の名三塁手としてあるいは陸上の短距離選手としてならしただけに、顔のつやもよく、背すじの伸びきった姿勢がとても美しい。1カ月につき10数試合が行われるが、次の日曜日までのわずかの時間内で、グラウンドを最良のコンディションにするには、芝刈りから給水さらには芝の補修など大変な労力を必要とする。「よいプレーができ選手が満足してくれば何もいうことはありません」全日本と対戦したポルトガルのベンフィカそして47年のコペンハーゲン、りっぱなグラウンドだと喜んでもらったことが、今でも忘れられないという。

東農大の造園学科を卒業後、昭和14年から神戸市の造園関係の仕事を始められた。第11回国体が兵庫県下で行われた31年、王子競技場整備の重任を果たされ、また東京オリンピックの年には、38年度サッカー全日本選手権決勝会場として再整備した功績が高く評価されて、44年中央球技場担当の任命を受けた。グラウンド工事中という悪条件の中で芝を育てあげ、44年5月18日こけら落としとしてヤンマー対ミドルセックスワンダラーズの試合が、大観衆のもとでりっぱに行われたときは、感慨無量だったと当時をなつかしそうに思い出される。

京都のご出身。終戦直後、神戸におられたこともあるが、現在は京都の自宅から通われている。奥さんとご長男夫婦それにお孫さんの5人住まい。次男三男の方々はそれぞれ独立されている。中央球技場での試合が多く、日曜日の休みはほとんどとれない。それでも暇をみつければ「庭で植木を楽しんだり、友人と山に登り草花や木々をながめるのが楽しみ」という。どこまでも仕事熱心な方である。スポーツをこよなく愛し、サッカーはもちろんラグビーや野球などの試合を好んで見られる。

初冬の冷たい風にさらされて黄色くなった芝は、春から夏にかけてのあの鮮かさはないが、見事に整備されたグラウンドに立って、「皆さんは日本一の球技場だとはめてくださるが、使用頻度が高いためか、現在は満足できる状態ではないんです」。名実ともに日本一の球技場を保つには、選手の方々も今まで以上に協力しなければならないのではないかとダグアウトに掲示されている注意事項のとおり、試合前の練習は所定の時間内で決められた人数だけで行い、ダッシュやターンなど芝を酷使する種目は慎むべきだと思う。

「このような球技場が神戸にもう二つ三つあればいいんですがネー。グラウンドコンディションはずうっとよくなるはずです。そして大勢のお客さんがつめかけ、手に汁をにぎるすばらしい試合が行われるのを夢みています」。終始にこやかに応待してくださった福田さんは、こう言って目を細められた。(ウ)